

生きている白山に学ぶ水と緑と防災

白山砂防通信

SHIRAKUSAN



SABOは
世界の共通語

臨時増刊号
VOL.49

SABOカード 第4弾 発行しました

やなぎだに

柳谷第7号砂防堰堤

登録有形文化財



Ver.1.0 (2021.03)

「御鍋砂防堰堤」「甚之助谷砂防堰堤群」「甚之助谷上流第16号砂防堰堤」に続き、第4弾として「柳谷第7号砂防堰堤」のSABOカードを発行しました。柳谷第7号砂防堰堤は、昭和2年に国の事業として最初に施工され、また日本で初めての階段状堰堤として施工されたものです。

一階段状堰堤群一

白山では急勾配河道の両岸に崩壊地が連続していて、岩盤が露出している堰堤適地がほとんどありませんでした。しかし、崩壊地を安定化させるためには高堰堤により、河床を上げて安定化させる必要がありました。

国直轄砂防事業となった昭和2年、初代所長の赤木正雄氏の発案により柳谷において我国で初めて階段状堰堤が施工されました（柳谷第7号、第8号、第10号堰堤）。これは一連の堰堤の上流側堰堤は下流側堰堤を副堰堤と見做し、その基礎高は下流側堰堤の天端高から設定しており、下流側堰堤から順次施工して行くものです。



上段；柳谷第8号堰堤、下段；柳谷第7号堰堤
昭和4年6月撮影

SABO-DATA

所在地：石川県白山市白峰
 河川名：手取川水系牛首川
 形式：重力式
 堤頂長：60.5m
 堤高：8.0m
 貯砂量：不明
 管理者：石川県
 着工/完成：昭和2年(1927)/昭和3年(1928)



基本情報

昭和2年の直轄事業化後、国の事業として最初に施工された堰堤です。
 セメント搬入のための運搬路の整備からはじまり、標高1,200mから2,000mにかけて飯場(はんば)と呼ばれる現場詰所や宿舍が逐次整備された中で、セメント以外の資材は全て現地で調達のおかげで施工されました。
 平成24年(2012)には、当時の設計、施工技術を現在に伝える歴史的価値が認められ、国の登録有形文化財に登録されました。

こだわり技術

白山では勾配が急な河道の両岸に崩壊地が連続しており、堰堤の施工適地である岩盤が露出した箇所がほとんどありませんでした。
 そのため、下流側堰堤を副堰堤とみなし、基礎高は下流側堰堤の天端高から設定し、下流側から階段状に堰堤を施工することで、河床・崩壊地の安定化を図りました。



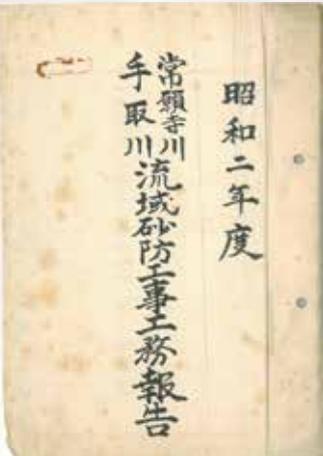
白山砂防工場 事務所(柳谷) 昭和4年7月撮影



甚之助谷の事務所・宿舍(中飯場) 昭和4年7月撮影
 ※奥の滝は万才谷からの不動滝

標高1,200mから2,000mにかけて整備された前線基地

SABO カード裏面



当時作成されていた毎年度の工事工務報告書(柳谷第7号堰堤着手について記載)

四. 施行状況

本年度工事実施準備のため昭和2年6月施工箇所実測を開始する。しかし事業地は人家無き深山中のため先ず係員詰所及び人夫小屋等の建設をなす必要が生じ、従来石川県が使用していた建物等の寄付物件の修理・増築等を行う。(略)

先ず8月1日より柳谷第7号堰堤床堀及び仮締切工事に着手した。(以下略)

—工事工務報告書を一部常用漢字に修正し抜粋—

◆入手方法◆

〔百万貫岩研究員認定書〕



受付



白山砂防科学館「百万貫岩を調べよう」コーナーのクイズで全問正解すると認定書がもらえます。

受付窓口で「百万貫岩研究員 認定書」を提示してください。

「御鍋砂防堰堤」「甚之助砂防堰堤群」「甚之助谷上流第16号砂防堰堤」「柳谷第7号砂防堰堤」から1枚お好きなカードがもらえます。

配布場所：白山砂防科学館

TEL：076-259-2990

FAX：076-259-2991

配布時間：9：00～17：00

※毎週木曜日・年末年始・臨時休館日は配布を行っておりません。

◆編集・発行◆

国土交通省金沢河川国道事務所流域対策課

〒920-8648

金沢市西念4丁目23番5号

TEL 076-264-9913

FAX 076-233-9612

Eメール kanazawa-ryutai@hrr.mlit.go.jp

「白山砂防通信」のバックナンバーは、白山砂防ホームページ(<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/hakusansabo/>)で閲覧できます。